

ため池ハザードマップについて

伊万里市には1,000池を超えるため池があり、農業用水の確保のため水をためておき、必要に応じ田畑などに水を送ることを目的としています。

また、豪雨時には雨水を一時的にためる洪水調節や土砂流出を防止する役割を果たすなど、地域に欠かせない多面的な機能を有する施設となっています。

この伊万里市ため池ハザードマップは、豪雨や地震による決壊に対し、避難の心構えや具体的な避難方法など、市民の方々の役に立つ情報をご紹介します。

確認したいポイント

！
自宅のある場所や周囲の
ため池
浸水想定区域・土砂災害
警戒区域など

！
避難場所の位置

！
自宅から避難場所へ向かう経路

※災害時に危険と思われる箇所(河川より低い道路、防護柵のない水路など)を自分の目で見て確認しておくことも大切です。

このハザードマップは、**ため池が満水時に大規模地震や大雨によって決壊した場合に想定される、浸水想定区域や浸水深、避難場所や避難方向を示しています。**

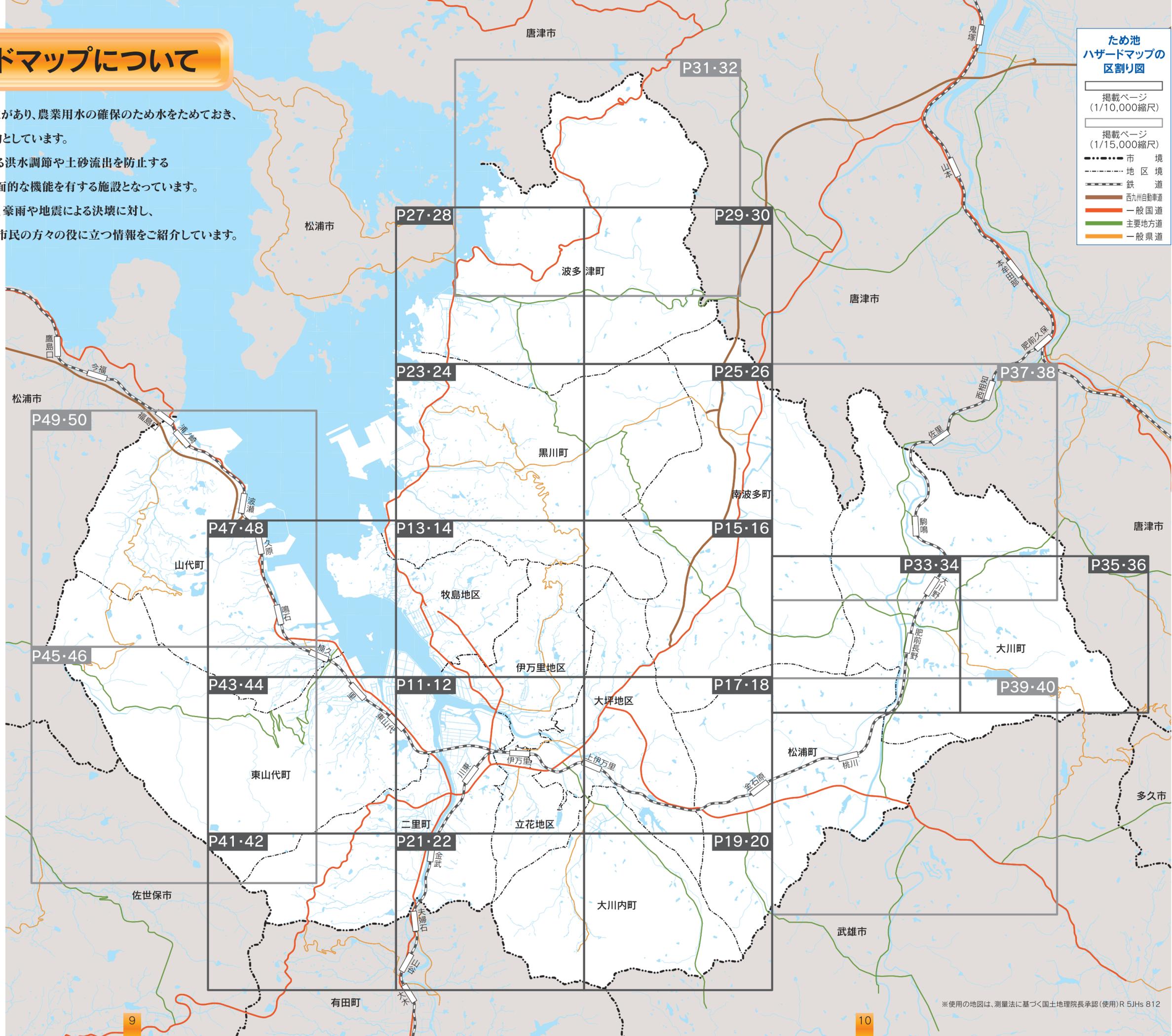
地図に掲載した情報は、佐賀県の浸水解析結果や、市と地域の方々による話し合いによる、避難場所や避難方向を記載しています。

自宅が浸水した場合の浸水深を確認し、「避難について」(7ページ)を参考に危険を感じたら早めの避難を心掛けましょう。災害の状況によっては、浸水範囲以外においても被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

このハザードマップは、**防災重点農業用ため池からの氾濫を記載しています。**
(ため池以外からの氾濫は「いまりんマップ」をご覧ください。)

ため池ハザードマップの区割り図

- 掲載ページ (1/10,000縮尺)
- 掲載ページ (1/15,000縮尺)
- 市境
- 地区境
- 鉄道
- 西九州自動車道
- 一般国道
- 主要地方道
- 一般県道



※使用の地図は、測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 5JHs 812

防災気象情報の
入手について

ため池決壊の
起こり方

土砂災害について

避難について

ため池ハザードマップ

日頃の備え
避難生活の心得